

いい顔、ありがとう

和納保育園のクロンボ大会、から(8月20日)



●この広報紙にあなたが
写っていましたら、総務課
企画係(☎824-111)内線
二二五へご連絡ください。
写真をさしあげます。



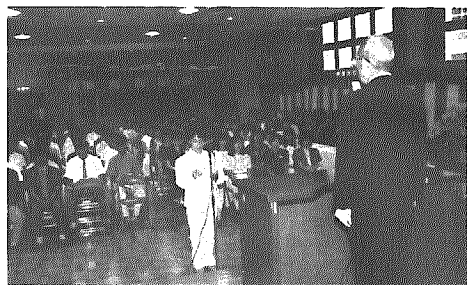
アジア大会代表の
本多 桂子さん(岩室・18歳)

55秒69——本多桂子さん(岩室・18歳)が六十一年度全国高校総合体育大会(インタハイ)で、先月三日に山口県陸上競技場で行われた陸上女子四百メートル決勝の記録です。本多さんは県立巻高校の三年生。昨年三月、青森県八戸市からお父さん(本多正男さん)海上自衛隊勤務)の転勤で実家のある岩室へ。「陸上は小学校のころからやっています。六年生の時に大会に出場してから本格的に始めましたが、本当は走ること、あまり好きじゃないです」と淡々と話す。インタハイでは自己ベスト(55秒46)北信越総体で記録に0秒24及ばなかったもののライバルをぐんぐん引き離してそのままトップでゴールイン。これが本県

初の優勝で会場はわき返ったという。会心のレースの後にまた、ビッグニュースが飛び込んできた。今月二十日から韓国のソウルで開かれる第十回アジア大会の代表に選ばれたのだ。「代表に選ばれたといっても大会に出場できるかどうかは、わかりません。これから合宿を行って、向こう(ソウル)での調整次第ですね」と控え目。夏休みも返上して練習に励む本多さんは、ただいま青春まっしぐらの高校三年生。将来は……のインタビューに「最初は薬科大学の方へ進みたかったんだけど、陸上の方が忙しくなっちゃって勉強の方が……でもこのまま陸上だけは続けたいですね」とさわやかに話す。本多さんのしなやかに、そして力強い走りがアジア大会、そして二年後のオリンピックで見られることを期待したい。

ただいま青春

まっしぐら



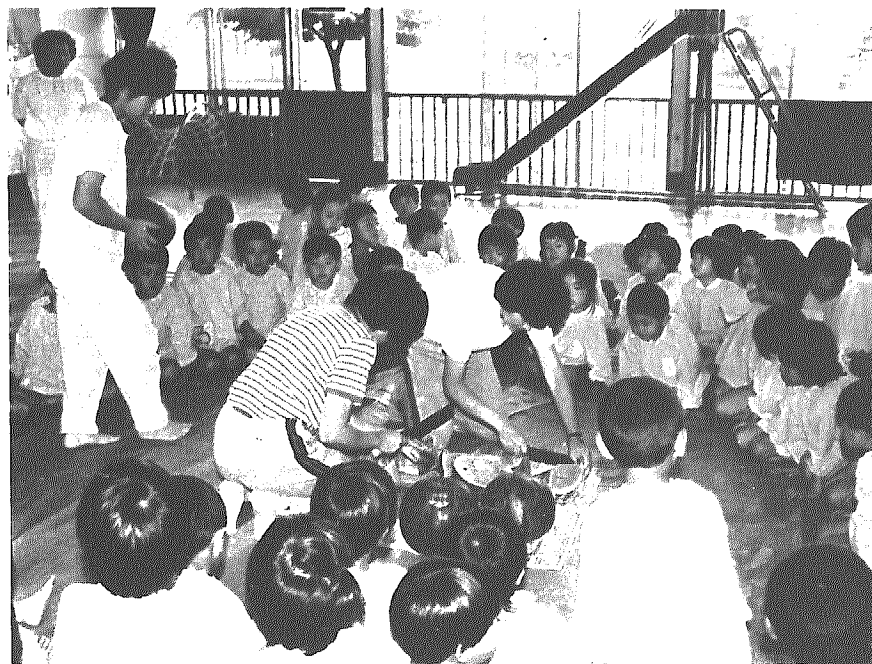
▲決意も新たに、はたちの旅立ち——先月15日、岩室村公民館で今年成人を迎えた110人の門出を祝う成人式が行われました。真夏の成人式とあって参加者のスタイルは軽装。それでも華やいだムードの中で2時間余りの門出を祝う催しが行われ、最後に新成人を代表して藤田裕治さんが、「これをひとつの区切りとして、また一歩ずつ歩んで行きたい」と答辞をのべました。



▲おまつり広場、大好評——先月2日、和納12区で地区名物行事!の「おまつり広場」と銘打った夏まつりがにぎやかに開かれました。この夏まつりは昨年から実施されたもので、企画・立案から準備・設営はもちろんのこと後始末までいっさいを地区が受け持ち、まさに「地区民による地区民のための手づくり夏まつり」。この日は午後3時半から老人と子供がゲートボールを楽しんだり、出店では金魚すくい、スイカ割りなどに興じていました。また、夕方からカラオケ大会が開かれ、盆踊りの輪とともに地区の交流・親睦の輪も広がったようです。

百発百中だ!

中央保育園でスイカ割り大会



「ふたりの気持ちをひとつに合せて、エイッ!」。先月五日に開かれた中央保育園でのスイカ割り大会。ちょうどこの日はタテ割り保育といっ、各年齢ごとの保育ではなく全園児が一体になった保育日。年長児のくま組に年中児のしか組、そして年少児のねこ組の園児たちが互いにペアを組みスイカ割りに挑戦。手ぬぐいで目隠しをして、二人の呼吸を合わせながら、スイカめがけて「エイッ!」。命中するたびに「あつた! あつた!」と大歓声。大人のようにスイカが真っ二つに割れることはないが、園児たちにとってはあたること自体が大切なこと……。百発百中!をめざしてみんな全員が挑戦後、早速、試食会。こちら(食べる)の方もみんな大張り切りでした。

親善と健康

岩室村公民館主催の61年度親子ソフトボール大会が先月24日、村民野球場で開かれ、各地域の親子21チーム、450人が真夏の熱戦を展開しました。親子のふれあいと健康増進を目的に毎年開かれているこの大会。今回もナイスバッティングが続いたり、ファインプレーが出るなど好試合が続きました。成績は次のとおりです。①和納6区 ②横曾根クラブ ③橋本子供会・和納1区A・高橋、敢闘賞は夏井子供会でした。



感性が冴える



村の「少年の主張大会」が先月二十四日、公民館で開かれ、参加した小中学生が力いっぱい自分の主張を訴えました。この大会は今年で五回目。村内の小学校六年生から中学校三年生までの代表十一人が発表に臨みました。発表テーマは「自然がいっぱい岩室村」「お金で買えないもの」といった身近な体験談からクラブ活動、生き方など多岐。どの発表も若者らしく純粋な感性にあふれ、会場を埋めた父母らの共感を呼んでいました。